

静粛さはおそらく
世界一クラス。



尾崎博章さん
(倉敷市児島下の町)

尾崎さんが会長を勤める株式会社トヨタシヨンは、わが国を代表するシエンズメーカー。創業は戦前、現在の会社設立は、昭和35年。その直後から現場第一線で、新機軸を打ち出し、挑戦を続け、ここまでいたる道を切り開いてきたのが尾崎会長です。



今日も自らセルシオのハンドルを握る尾崎会長

「九州での営業経験が長かったですね。自分でハンドルを握ってここまで行きました。そのころも、今でも運転は苦になりません。このセルシオは春先に購入したばかりですが、もう軽井沢まで往復七〇〇キロはかりのドライブに出かけました」

その間の運転はまったくお一人。さらに何うと、これまで行った最長ドライブは札幌までと驚く。

「青森までは一泊だけ。フェリーで北海道に渡って夫婦でゆっくり遊んでから帰りました。復路はさすがに疲れていたのが青森から岡山に帰るのに二泊しました笑」と尾崎会長。まさにスーパーな体力をお持ちのよう。

「景色が変わるのが好きで、それでドライブに出かけているようなもの。でもセルシオだから楽に運転できるというところもあるんです。ちよと優しい感じのシート、オーディオや、格段の静かさ、主にエンジン音ですね。これがあるからストレスを感じずに長距離ドライブできるんです。外車も車庫にありますが、自分で運転する際は、やっぱりセルシオです」

尾崎会長とトヨタ車との出逢いは、昭和30年代のことだそう。それから今日まで何十台もある社有車も含めトヨタ車を愛用いただいています。

「なによりも道具としてしっかりと使っていること。いざというとき走らない、使えないでは仕事になりませんから。その点、トヨタなら安心です」

自らハンドルを握られる尾崎会長は、営業車輛のメンテナンスへの気配りも万全。日々の点検やオイル交換などもこまめにすべて岡山トヨタにお任せいただいています。

タイヤ無料点検キャンペーン実施中

あなたのタイヤは
大丈夫？

毎年夏、東名高速道路・浜名湖サービスエリアで、JATMA(日本自動車タイヤ協会)主催の「高速道路におけるタイヤ点検」が行なわれています。昨年は8月2日の実施。タイヤの不良による自動車事故を未然に防ぐことを目的に、東名高速道路が全線開通した1969(昭和44)年から毎年実施されています。というのも、高速道路での自動車故障で最も多いのが「タイヤ(ホイール)の破損」だから。年間3万数千件もの数字が報告されています。また昨年のタイヤ点検でタイヤの不良があった割合は32.8%。3台のうち1台がタイヤに問題ありという結果が出ているのです。不良項目がもっとも高かったのは「空気圧不足 続いて「タイヤ溝不足」と「偏摩耗」。これらのタイヤ不良は、一歩間違えば重大な交通事故を引き起こす原因にもなりかねません。くれぐれも注意したいですね。

そこで岡山トヨタでは
タイヤ無料点検を実施

「パンクをしなければタイヤの空気は抜けない」こう考えている人はいませんか。実は、タイヤ内の空気はパンクしていなくてもわずかなずつけていきます。定期的な点検・調整が必要なのですが、私たちが車検や点検でお預かりした車の過半が、適正空気圧の割ほどしか空気圧がありません。また、タイヤローテーションをしていないなどの原因でタイヤの片減りを起こしている車もあります。外側は溝があるのに内側はもうツルツル。こんな見つけにくい片減りも珍しくありません。また磨耗により、バランスが崩れ、高速走行時にハンドルが振れるなどの不具合を経験した方も多いはず。そこで岡山トヨタではタイヤ無料点検を実施中。ご来店頂ければタイヤ点検と空気圧の点検は無料で実施しています。この機会にぜひ、無料タイヤ点検をお申し付けください。

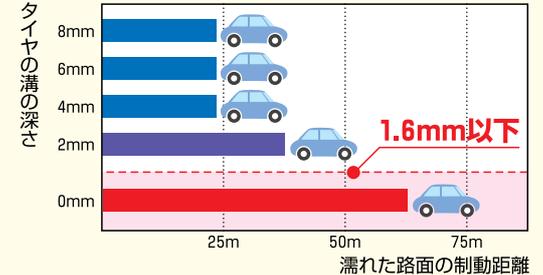
TECNO SHOP

豊富な知識と確かな技術で
カーライフのサポートをします。

摩耗限度を超えると…

溝の深さが1.6mm以下になると極端に制動距離が長くなります。

(60km/hの場合)



スペアタイヤの空気圧も、必ずチェックしておきましょう